

# 埼玉県連健康づくり ハイキングに参加して

事務局 星 敦司

5月11日(土)に「第5回埼玉県連健康づくりハイキング」をさいたま市岩槻区内で実施いたしました。今回で5回目のハイキングです。120名の参加で、当日の天候は変わりやすい天気予報で心配をしましたが、よく晴れ渡り五月晴れの中、開会式の後参加者の皆様は張り切って出発されていました。今回は旧岩槻市街地を散策するコースですが、岩槻といえば人形の町であることが、全国的にも知れ渡っております。しかし、もう一つ、城下町ということもあり、歴史、旧跡を散策するコースを地元の先生方にご案内をいただきながら歩きました。

岩槻と言えば人形の町で有名ですが(私もひな人形は岩槻で買わせていただきました)、歴史をたどると室町時代に太田道灌(江戸城築城で有名です)が岩槻城を築いてから、城下町としての歴史が始まります。人形の街として栄えたのは日光東照宮の造営にあたり、江戸幕府が全国から優秀な工匠を集め、日光街道沿いにある岩槻にその方々が住みつき、桐箆箆や人形を作ったのが始まりということでした。

ここから本題であるハイキングの報告をさせていただきます。午前9時にJR岩槻駅東口にある「コミュニティセンター」に集合をしていただき、受付、開会式後、10時にスタートしました。ハイキングコースは次のとおりです。

「愛宕神社」→「時の鐘」→「岩槻城址公園」→「諏訪神社」→「遷喬館」→「ほてい屋(昼食会場)」です。

「時の鐘」は約15分です。川越が有名ですが、岩

槻のものが古いとのこと。ここから15分ほど歩くと「岩槻城址公園」に到着し

ました。広々とした園内には大きな池があるのですが、ちょうどスイレンの花が盛りで、皆さん写真をたくさん撮っていました。空堀を歩いて、黒門(岩槻城大手門)を見学して城址公園を後にしました。ここからは、「諏訪神社」を通過して「遷喬館(岩槻藩藩校)」を見学します。埼玉県内では唯一保存されている藩校です。平成15年に3年を掛けて、解体修理、復元を行ったそうです。岩槻の宝としてこれからも保存して欲しいです。

たっぷり2時間を掛け歩き、散策をすると、駅前のとおりに出て、昼食会場である「ほてい屋」が見えてきます。

入口には岩槻城と同じ大手門を構える立派な料亭です。閉会式の後、参加者の皆様は疲れた顔もせず、美味しい和食をいただき、ハイキングは無事終了となりました。今回のハイキングは地元、春日部支部、越谷支部の先生方にご協力をいただき、事故もなく終わることができました。ありがとうございます。また来年は秩父支部、本庄支部の先生方のご協力のもと開催いたします。詳細が決まりましたらご案内させていただきますので、ご参加のほどお待ちしております。

